

2020年2月18日

報道関係者各位

慶應義塾大学 SFC 研究所
ソフトバンク株式会社**慶應義塾大学 SFC 研究所とソフトバンク、
自営の 5G ネットワークを活用した共同研究を開始****～ローカル 5G を見据えて、さまざまなユースケースの実証実験を実施予定～**

慶應義塾大学 SFC 研究所（以下、SFC 研究所）と、ソフトバンク株式会社（以下、ソフトバンク）は、第 5 世代移動通信システム（以下、5G）を活用したユースケースの共同研究を、慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス（神奈川県藤沢市、以下 SFC）内で、2020 年 2 月から開始しました。

SFC 研究所は、ローカル 5G におけるさまざまなユースケースの実証実験を見据えて、ソフトバンクが開発を進めている可搬型 5G 設備と、MEC（マルチアクセスエッジコンピューティング）※1サーバーを導入し、SFC 構内に自営の 5G ネットワークを SA※2 構成で構築しました。構築した 5G ネットワークは SFC の既存ネットワークに組み込まれ、SFC 研究所が管理用ポータルサイトを利用して、自ら運用を行う検証を進めています。

今回構築した 5G ネットワークは、WIDE プロジェクト※3 が運営する学術研究ネットワークに接続しており、さまざまな研究組織や企業、自治体との協力の下、5G におけるユースケースの実証実験での活用が予定されています。例えば大学構内に設置したカメラ映像を、5G を介して伝送し、構内のバス停や駐車場などの混雑率の可視化や、歩行者向けのナビゲーション、構内の安心・安全に資する情報配信といった、キャンパス運用の高度化・効率化の検証を行います。また、学生向けに 5G や MEC サーバーを開放し、新たなユースケース開発の検証を実施する予定です。

ソフトバンクは、今回の共同研究を通して、今後訪れる 5G の需要拡大を見据え、納入先の企業・団体が自律的に運営可能なシステムの商用化を目指して、開発を推進していきます。

※1 Multi-access Edge Computing：端末から近い位置にデータ処理機能を配備することで、通信の最適化や高速化を可能にすることができる技術

※2 Stand Alone：4G ネットワークを使用せずに 5G ネットワークを構成すること

※3 複数の大学間をまたいで結成された、インターネットに関する研究・運用プロジェクト

詳細はこちら (<http://www.wide.ad.jp/>) をご覧ください

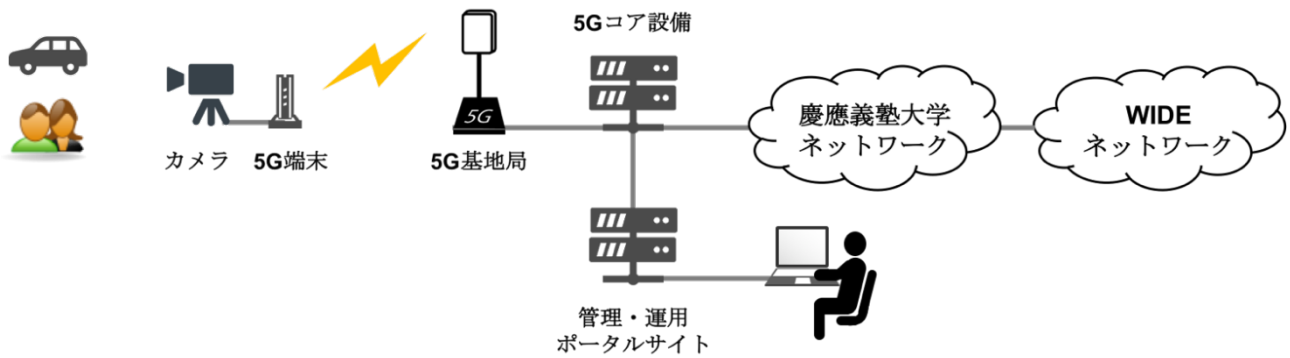
【各者の役割】**SFC 研究所**

- ・大学構内ネットワークの設計・構築
- ・5G ネットワークの管理・運用の検証
- ・5G を活用したユースケースの実証実験

ソフトバンク

- ・可搬型 5G 設備の提供
- ・管理・運用ポータルサイトの開発と提供
- ・無線局開設の各種手続き

【実験概要図】



<5G ユースケース実証実験の例>

- ・ 大学構内のバス停、駐車場における混雑状況の可視化
- ・ 歩行者向けナビゲーション
- ・ 大学構内における安心・安全情報配信への活用など

※本プレスリリースは、新聞各社社会部等に配信しております。

【本件についてのお問合せ先】

慶應義塾大学 SFC 研究所

E-mail: sfc5g-info@sfc.wide.ad.jp

【配信元】 sbpr@g.softbank.co.jp

慶應義塾大学 湘南藤沢事務室 学術研究支援担当

E-mail: kri-pr@sfc.keio.ac.jp

TEL: 0466-49-3436

FAX: 0466-49-3594